

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2013-34447(P2013-34447A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-174677(P2011-174677)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/04

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月11日(2014.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

下記 (a) 及び (b) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対、下記 (c) 及び (d) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対、下記 (e) 及び (f) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対、下記 (g) 及び (h) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対、並びに下記 (i) 及び (j) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対からなる群より選ばれる少なくとも 1 種のオリゴヌクレオチド対を用いてネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの同定を行う工程を含む、ネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の検出方法。

(a) 配列番号 1 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 1 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(b) 配列番号 2 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 2 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(c) 配列番号 3 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 3 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(d) 配列番号 4 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 4 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(e) 配列番号 5 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 5 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(f) 配列番号 6 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 6 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(g) 配列番号 7 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 7 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(h) 配列番号 8 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 8 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(i) 配列番号 9 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 9 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(j) 配列番号 10 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 10 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

下記 (a) 及び (b) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対、下記 (c) 及び (d) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対、下記 (e) 及び (f) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対、並びに下記 (i) 及び (j) のオリゴヌクレオチドからなるオリゴヌクレオチド対からなる群より選ばれる少なくとも 1 種のオリゴヌクレオチド対を用いて、下記 (k) ~ (t) のいずれかの塩基配列で表される核酸の存在を確認する、ネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の検出方法。

(a) 配列番号 1 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 1 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(b) 配列番号 2 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 2 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(c) 配列番号 3 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 3 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(d) 配列番号 4 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 4 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(e) 配列番号 5 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 5 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(f) 配列番号 6 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 6 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(g) 配列番号 7 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 7 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(h) 配列番号 8 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 8 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサ

ルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(i) 配列番号 9 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 9 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(j) 配列番号 10 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 10 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(k) 配列番号 11 に記載の β -チューブリン遺伝子の部分塩基配列又はその相補配列

(l) 配列番号 11 に記載の塩基配列において 1 又は数個の塩基が欠失、置換、挿入又は付加されておりかつネオサルトリア・グラブラ (*Neosartorya glabra*) の種レベルでの検出に使用できる塩基配列、又はその相補配列

(m) 配列番号 12 に記載の β -チューブリン遺伝子の部分塩基配列又はその相補配列

(n) 配列番号 12 に記載の塩基配列において 1 又は数個の塩基が欠失、置換、挿入又は付加されておりかつネオサルトリア・ヒラツカエ (*Neosartorya hiratsukae*) の種レベルでの検出に使用できる塩基配列、又はその相補配列

(o) 配列番号 13 に記載のカルモジュリン遺伝子の部分塩基配列又はその相補配列

(p) 配列番号 13 に記載の塩基配列において 1 又は数個の塩基が欠失、置換、挿入又は付加されておりかつネオサルトリア・シュードフィシェリ (*Neosartorya pseudofischeri*) の種レベルでの検出に使用できる塩基配列、又はその相補配列

(q) 配列番号 14 に記載のカルモジュリン遺伝子の部分塩基配列又はその相補配列

(r) 配列番号 14 に記載の塩基配列において 1 又は数個の塩基が欠失、置換、挿入又は付加されておりかつネオサルトリア・フィシェリ (*Neosartorya fischeri*) の種レベルでの検出に使用できる塩基配列、又はその相補配列

(s) 配列番号 15 に記載のカルモジュリン遺伝子の部分塩基配列又はその相補配列

(t) 配列番号 15 に記載の塩基配列において 1 又は数個の塩基が欠失、置換、挿入又は付加されておりかつネオサルトリア・スピノサ (*Neosartorya spinosa*) の種レベルでの検出に使用できる塩基配列、又はその相補配列

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

下記 (a) 及び (b) のオリゴヌクレオチド、下記 (c) 及び (d) のオリゴヌクレオチド、下記 (e) 及び (f) のオリゴヌクレオチド、下記 (g) 及び (h) のオリゴヌクレオチド、又は下記 (i) 及び (j) のオリゴヌクレオチドからなる、オリゴヌクレオチド対。

(a) 配列番号 1 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 1 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(b) 配列番号 2 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 2 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(c) 配列番号 3 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 3 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(d) 配列番号 4 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 4 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサ

ルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(e) 配列番号 5 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 5 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(f) 配列番号 6 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 6 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(g) 配列番号 7 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 7 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(h) 配列番号 8 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 8 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(i) 配列番号 9 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 9 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(j) 配列番号 10 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 10 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 26

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 26】

下記 (a) ~ (j) のオリゴヌクレオチドからなる群より選ばれるオリゴヌクレオチド

。

(a) 配列番号 1 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 1 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(b) 配列番号 2 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 2 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(c) 配列番号 3 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 3 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(d) 配列番号 4 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 4 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(e) 配列番号 5 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 5 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(f) 配列番号 6 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 6 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(g) 配列番号 7 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 7 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (*Neosartorya*) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(h) 配列番号 8 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 8 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (Neosartorya) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(i) 配列番号 9 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 9 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (Neosartorya) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド

(j) 配列番号 10 に記載の塩基配列で表されるオリゴヌクレオチド、又は配列番号 10 に記載の塩基配列において 1 個 の塩基が欠失、置換、挿入若しくは付加されておりかつネオサルトリア (Neosartorya) 属真菌の種レベルでの検出に使用できるオリゴヌクレオチド